

Pitu Mirchandani 教授 講演会報告



目で見ると
海外講師講演会

森田 浩*

The seminar by Professor Pitu Mirchandani
OR/IE/CS Models in Transportation and Traffic Management

Key Words : Traffic control, Evacuation, Operations research model

<講演会名> Pitu Mirchandani 教授 講演会
“OR/IE/CS Models in Transportation and Traffic Management”

<開催場所> 大阪大学大学院情報科学研究科 情報科学C棟101号室

<開催時期> 平成28年7月13日午後2時40分より

Pitu Mirchandani 教授 (アリゾナ州立大学) は、システム工学、オペレーションズ・サーチが専門で、特に動的確率ネットワークに関する問題に取り組まれています。その中でも、最適配置モデル、災害時の人や車の避難経路モデル、実時間データ駆動型意思決定システムをはじめとして、幅広い分野における諸問題をオペレーションズ・リサーチのモデル、手法および解法を駆使した研究を行っておられます。

このたび、スケジューリング学会主催の Special Seminar on Transportation and Logistics では著名な研究者をお呼びして、この分野の最先端の話題を講演していただく企画があり、この機会に大阪大学においても大学院生や学部生にもわかりやすく講演をお願いしたところご快諾を得ることができ、この講演会が実現するに至りました。スケジューリング学会のセミナーに招へいたハンブルグ大学の Stefan Voss 教授や本研究科に滞在中の Andrew Johnson 特任准教授も大阪大学での講演会に参加していただく

ことができ、お互いの旧知を深めたり、貴重なコメントもいただいたりと、和やかな雰囲気での講演会となりました。

ガソリン車に変わる電気自動車はさまざまな観点から注目を集めるようになってきました。電気自動車の性能向上やハイブリッド化などの進歩には目覚ましいものがありますが、普及するにあたっては充電設備のインフラ整備や経路計画などの運用面での管理方策が不可欠となります。そこでは、オペレーションズ・リサーチによる数理モデルとその解析が威力を発揮します。本講演の中では、この研究のきっかけとなった論文が今から35年前の1981年に当時大阪大学の大学院生で私の先輩にあたる一森哲男先生 (現大阪工業大学) と紹介され、電気自動車など想像もつかなかった時代の研究に驚かされました。

Mirchandani 教授はアリゾナ州のフェニックス周辺での実証的なプロジェクトにもかかわっておられ、非常に興味深いお話を伺うことができました。スケジューリング学会の招へいで来日されていたという幸運とともに、生産技術振興協会の海外講師講演会奨励事業の支援により、この講演会を開催することができました。関係各位に厚く御礼申し上げます。



Dr. Pitu Mirchandani

Professor of Computer, Informatics and Decision Systems Engineering, Arizona State University, USA
ScD, Operations Research, Massachusetts Institute of Technology, USA



講演風景

*講演会主催者 大阪大学大学院情報科学研究科 教授